

令和2年度 技術力維持・向上対策研修（実践研修）

開催日時 令和2年11月11日（水）～13日（金）
研修場所 四国森林管理局会議室（高知県高知市）
現地研修 島ノ川山国有林3229林班ほか（高知県中土佐町）
受講者 県職員4名、森林管理局職員4名、民間事業者7名

【概要】

- 1日目は開講式後、砂田講師様（（株）サイプラススナダヤ）から動画によるCLTを中心とした製品需給状況の説明があった。その後、局駐車場内に設けたエンドレスタイラー式集材模型による研修とGISによる架線設計等についての講義が行われ、それらを基に各班が搬出系統図作成の演習準備を始めた。
- 2日目は採材研修及び搬出系統等の資料作成に向けた現地調査のため、実際に間伐施業を行っている島ノ川山国有林で現地実習を行った。採材研修は、経験豊富な受講生が多かったことから、急遽、各班2本ずつの採材検討に変更した。現地実習終了後、会場に戻り、搬出系統等の資料作成作業を行った。
- 3日目は前日の現地実習を踏まえ、班ごとに集材架線システム等の関連資料を作成後、発表・質疑応答と続き、全てのカリキュラムを終了した。

【研修の様子（1日目）】



砂田社長のCLT等川下状況説明



エンドレスタイラー集材模型による研修

【研修の様子（2日目）】



生産現場における採材研修



ダブルエンドレス方式集材架線の先柱での説明

【研修の様子（3日目）】



現地確認を経て集材架線システム作設演習



各班作成の集材架線システム発表状況